

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公表番号】特表 2020-505093 (P2020-505093A)
【公表日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)
【年通号数】公開・登録公報 2020-007
【出願番号】特願 2019-536304 (P2019-536304)
【国際特許分類】

A 6 1 B 18/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 18/04

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蒸気送出装置であって、

細長いシャフトと、

遠位端電極と、を有し、前記遠位端電極は、それに接触する組織の第 1 の電気インピーダンス及び位相シフトを測定するように構成され、

更に、前記遠位端電極の近位側において前記細長いシャフトに配置されたリング電極を有し、前記リング電極は、それに接触する組織の第 2 の電気インピーダンス及び位相シフトを測定するように構成され、

更に、前記遠位端電極と前記リング電極の間に配置された電氣的絶縁部分と、

電子コントローラと、を有し、前記電子コントローラは、第 1 の電気インピーダンス、第 2 の電気インピーダンス及び位相シフトに基づいて、前記先端電極及び前記リング電極が前立腺内に配置されているかどうかを決定するように構成される、蒸気送出装置。

【請求項 2】

更に、回路を有し、前記回路は、前立腺内の組織と前立腺の外側の組織の間のインピーダンスと位相のコントラストを最適化する作動周波数を決定するために、1 ~ 100 MHz の周波数の交流電流を供給するように構成される、請求項 1 に記載の蒸気送出装置。

【請求項 3】

蒸気送出システムであって、

R F 発生器コンソールと、

前記 R F 発生器コンソールに挿入されるように構成されたシリンジと、を含み、前記シリンジは、シリンジハンドルと、プランジャと、前記シリンジハンドル上に配置されたハンドル磁石と、前記プランジャ内に配置されたプランジャ磁石を含み、

更に、前記シリンジに結合された流体源と、

前記 R F 発生器内に配置された発生器磁石と、を含み、前記発生器磁石は、前記プランジャ磁石を前進させたり後退させたりするように前記プランジャ磁石と整列するように構成され、

前記 R F 発生器コンソールは、前記発生器磁石を前進させたり後退させたりすることによって、前記流体源からの流体を前記シリンジに自動的に補充するように構成される、蒸気送出システム。

【請求項 4】

更に、前記流体源から前記シリンジ内に流体を流すことを可能にするように構成された一方向逆止弁を含む、請求項 3 に記載の蒸気送出システム。

【請求項 5】

更に、前記シリンジから前記蒸気送出装置に流体を流すことを可能にするように構成された第 2 の一方向逆止弁を含む、請求項 4 に記載の蒸気送出システム。